

# 北海道スポーツ少年団剣道交流大会 申し合わせ事項

## 1. 大会特別試合規則

(1) 試合の種別及び方法、時間は次のとおりとする。

### ①団体試合の場合

(ア) 試合は予選リーグと決勝トーナメントとする。

(イ) 試合は予選リーグ、決勝トーナメントともに勝者数法とする。

(ウ) 予選リーグは、出場チーム1組3または4チーム編成とし、勝ちの時は1点、引き分けの時は0.5点、負けの時は0点として、チームの合計点、勝者数、総本数によって順位を決定する。

(エ) 決勝トーナメントは予選リーグ各組の1位8チームをもって行い、優勝、準優勝、3位(2チーム)を決定する。なお、決勝戦の前に3位同士による全国大会出場優先順位決定戦を行う(表彰は2チームとも3位とする)。

(オ) 試合は原則として3本勝負、試合時間は3分とし、勝敗が決まらない場合は引き分けとする。但し、準決勝以上の試合で制限時間内に勝敗が決しない時は、1本勝負として延長1回(2分)を行う(勝敗が決まらない場合は引き分け)が、団体試合の勝敗が決定した場合は行わない。

(カ) 予選リーグで勝ち点、勝者数、総本数で全て同数の場合及び決勝トーナメントで、勝者が同数で総本数も同じ場合は代表者戦を行う。予選リーグの代表者戦はリーグ戦終了後に行う。代表者戦は、1本勝負、試合時間3分とし、勝敗が決まらない場合には勝負の決するまで行う。なお、代表者戦の出場者は、中堅・副将・大将とし、抽選により出場選手を決める(中堅・副将・大将で欠員がある場合には、欠員ポジションを除いて抽選を行う)。

### ②個人試合の場合

(ア) 試合は男女別に行い、試合方法、時間などは団体試合に準ずる。但し、試合時間内に勝敗が決しない時は、延長戦を行い、勝負の決するまで行う。

(イ) 予選リーグで勝ち点、勝ち数、総本数が全て同数の場合には、3人以上であれば3本勝負を行い、2人の時は1本勝負で決戦を行う。

(2) 構えは中段の構えのみとする。

(3) 突き技及び片手技は有効としない。

## 2. 用具などについて

(1) 竹刀の点検は十分にしておくこと。中結の位置は剣先から全長の1/4とする。

(2) ポリカーボネード面の使用は認めることとする。

(3) 剣道具の着装はしっかりすること。即ち、面紐の長さは結び目から40cm以内に切っておくこと。

小手紐は長く垂れないようにきちんと結び、胴紐(腰紐)の結び方は花(蝶)結びとすること。

(4) サポーター等の使用届は行わない。サポーター等は、医療上必要と認める場合に限りその使用を認める。但し、見苦しく、且つ相手に危害を加えると審判員が判断した場合、その使用を禁止することもある(足首のサポーターの底にゴムや革を貼ったものは禁止)。

(5) 鍔は所定の位置に固定すること。

(6) 名札は、全日本剣道連盟剣道試合審判細則（下図参照）に準じたものを着けることとし、所属団体名に加えて地域名や道場名などを記したものは認めない。

(下図 全日本剣道連盟剣道試合審判細則第5条、および第4図)

## 第5条

試合者の名札は、第4図のとおりとし、中央の垂れに着ける。

第4図 試合者の名札

